

和を訴えるならもっと各方面の勉強ができる場(学部)があってもよいのではないのでしょうか。そして平和に関するあらゆる研究ができることを、世界にアピールすることが大切ではないかと思えます。

最後に、私は来年3月にインドネシアに帰国します。留学生の皆さんに一つ言っておきたいと思えます。日本人は最初は大変に気難

しいけれども、本心で付き合えば、これほど親身になってくれる民族はないと思えます。どうか留学生の皆さん、日本人と親身になり日本のよい点を学び祖国で役立てるようにならうではありませんか。

今後共に日本に来る留学生達をよろしく願います。ありがとうございました。

## サークル紹介

### “遊ぶ”っておもしろい

#### — 児童文化研究会 —

児童文化研究会会長 細羽 竜也



私たち児童文化研究会は、その堅苦しい名前とは裏腹に、実は単に“子どもとあそぶ”サークルなのです。みなさんも子どもの時、地域の子ども会やら少年団やらで、夏はキャンプに行ったり、冬はクリスマス会で遊んだりして、楽しい一時を過ごされたと思えます。そこで、私たちのサークルが一体どんなことをしているのかと言いますと、春には春季公演といって、近くの施設に行き、影絵や紙芝居とか、レクリエーションなどをしています。また、春と言えば卒業式や入学式の時期。市

内の地域子ども会の子どものために、卒入祝い会をしたりもしています。

夏には夏季実践といって、県北の涼しい風の吹く小学校に、影絵、紙芝居、レクを中心とした公演を開きに行きます。また、夏というたらキャンプ。自然美あふれるキャンプ場で、子どもたちとキャンプをやりま

す。冬というたらクリスマス。市内の児童館で、かわいい(?)子どもたち相手に、クリスマス会を開いています。

私たちのサークルは、子どもと遊ぶために一生懸命になっているサークルですが、それだからこそ、とってもおもしろいサークルです。

すぐ泣く子ども、すぐケンカする子ども、文句ばかり言う子どもとか、いろんな子どもと出会いますが、そんな子どもたちの純な気持ちに触れた時、やっぱりこのサークルに入って良かったなって、月並みですけど思えます。私たちのサークルは、そんなサークルです。